

(2019年度) 第35回 函館地区一般クラブ対抗バドミントン大会 [大会要項]

函館地区バドミントン協会

1 主 催 函館地区バドミントン協会

2 期 日 2019年(令和元年) 12月15日(日)

3 会 場 函館アリーナ [函館市湯川町1丁目32番3号] ☎ : 57-3141

4 競技種目	部	〔種 目〕	
	1部	男子団体(1MT)	女子団体(1WT)
	2部	男子団体(2MT)	女子団体(2WT)

5 大会日程	(8:00)	[開場] → [会場設営] [公開練習] (監督会議)
	【公開練習後】	開会式→(終了後)競技開始

6 参加資格	①渡島・檜山・函館地区在住の一般社会人(大学生・高専生を含む)で、本年度、函館地区バドミントン協会への加盟登録済みの者。[当日登録可] ②高校生の出場については1月に行われる全道高校選抜大会への出場権を得た1・2年生によるチーム編成に限り選手強化を兼ね1部への参加を認める。 ③高専生は4年生以上の者でチーム編成をして参加のこと。但し、上記②に該当する場合は、1・2年生のみでのチーム編成により1部への参加を認める。 ④チーム編成にあたっては、後述する「付則」欄を参照のこと。
--------	---

7 競技規則	① 本年度(公財)日本バドミントン協会の「競技規則」・「大会運営規程」・「公認審判規程」に準ずる。
--------	---

8 使用器具 など	① 本年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具を使用する。使用球は、(公財)日本バドミントン協会検定球とする。(地区協会を用意する) ②服装については(公財)日本バドミントン協会検定合格品を着用のこと。 ③参加者は、背面に「所属チーム」を表示すること。 (高さ6cm~10cm、横30cm以内) 〔上着へのプリント 又は ゼッケン用の布地〕 ※大会当日は本部席にもゼッケン用の布地を用意しておきます。
--------------	---

9 競技役員	○レフェリー (江刺家 大介) ○デピュティ・レフェリー (能登谷 芳之)
--------	--

10 参加料	① 1部:種目 [1チーム] (12,000円)
	② 2部:種目 [1チーム] (10,000円)

- |                                  |
|----------------------------------|
| ① 大会当日の棄権及び選手変更の場合の参加料については返戻しない |
| ② 参加料は大会当日に、会場にて受け付けます           |

11 申込方法 な ど	①所定の用紙(様式1:参加申込一覧)に、競技種目別に「男子は黒」・「女子は赤」記入すること。
	②不備のものや電話による申し込みは受け付けません。
	③「様式1:参加申込一覧」を郵送またはFAXでも可。
④ 申込締切日 2019年12月6日(金):必着のこと	
⑤ 申込み先	☎ 049-0156 北斗市中野通3丁目6番1号 北海道上磯高等学校 二階堂(宛) 〔TEL・FAX〕0138-73-2304(Tel) 0138-73-3198(FAX)

12 組合せ会議 について	① [日時] 2019年12月7日(土) 13:30~
	② [場所] 大妻高等学校
	③函館地区バドミントン協会がシード法で行う。(公開しています)

13 その他	①開会式の前に代表者会議を行うので、各チームの代表者1名は放送の指示に従い参集すること。
14 練習時間	①会場設営が終了次第、練習時間を設ける。 ②原則としてコート割り当ては行わずフリー練習とする。
15 審判について	<p>※主審・線審・得点板係について</p> <p>①予選リーグは、対戦するチーム同士の相互審判制で行う。 ②決勝戦及びその他の順位決定戦は当該するチーム同士の相互審判制で行う。 ③その他（審判など不足する場合は他のチームや観戦者お願いする場合がありますので、よろしくお願いします）</p>
16 競技方法について	<p>① 【競技方法について】</p> <p>(ア) (一般)男女別に部門別（1部・2部）の団体戦を行う。 (イ) 出場チームの1部・2部の判定及び組合せ方法は競技委員会で決定する。 (ウ) 各部門ともリーグ戦による予選を行い、その試合結果により決勝戦を行う。 (エ) その他の順位決定戦を行う場合もある。【下記③－(ア)参照】 (オ) 参加数により1ブロックのみの総当たりのリーグ戦で順位を確定する場合もある。</p> <p>② 【予選リーグの試合方法及び順位決定の方法について】</p> <p>(ア) ダブルス：3ペアによる団体戦とする。 (イ) 予選リーグは勝敗結果にかかわらず1D－2D－3Dまでの試合を行う。 (ウ) 競技の進行状況により、対抗戦内の各ダブルスの試合を複数のコートに開いて行う場合もある。 (エ) 予選リーグの順位決定については、1D－2D－3Dまでのの結果をすべて、勝敗数として算出して順位決定する。</p> <p>③ 【決勝戦及びその他の順位決定戦について】</p> <p>(ア) 決勝戦及びその他の順位決定戦については参加数を勘案し、組合せ会議において競技委員会で検討し決定する (イ) 試合形式については、トーナメント戦とする。 (ウ) 決勝戦及びその他の順位決定戦については、競技の進行状況により対抗戦内の各ダブルスの試合を複数のコートに開いて行う場合もある。 (エ) トーナメント戦の場合も、ダブルス：3組の試合形式により行う。 但し、下記(オ)の要領で行う。 (オ)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(1)ダブルス：3組の試合で、先に2組のダブルスで先勝したチームを勝ちとする。 (2)その場合、「残りのダブルスの試合（3D目）」、及び「競技の進行上、他の複数のコートに開いて同時に行っている場合残りのダブルスの試合」がある場合には試合の途中で打ち切りとする。（試合結果は、2－0となる）</p> </div> <p>④ 【その他】</p> <p>(ア) リーグ戦方式で試合を行う場合の順位決定方法は以下の順で行う。 〔①勝敗→②ゲーム率→③ポイント率〕 (イ) やむを得ない事情により欠員を生じ、チーム編成が規定する人数に達しないチームがある場合には、別紙「チーム編成について(留意)」の条項に準ずる。〔出場を認められたチームとする〕 (ウ) ポイントについては、原則として予選及び決勝戦・その他の順位決定戦ともに21点：ラリーポイント制で試合を行う。 但し、出場するチーム数が多数の場合や使用会場の状況などによっては予選リーグのみ15点：ラリーポイント制で試合を行う場合もある。</p>

## 【表彰について】

(ア) 上位のチームを表彰する。(1位・2位)  
 (イ) 三決を行った場合は3位まで。

## 【参考】

## 1 前年度：クラブ対抗 各部（種目）の優勝チーム (H30年度)

1MT (1部男子)	市田組 (A)	田中 健太・播磨 良輝・笠間 勇汰 川橋 尚斗・津嶋 利章・丸山 晃輝
---------------	------------	--

2MT (2部男子)	N. B. T (C)	橋本 一・勢田 昌巳・本村 厚作 葛西 雅史・梅田 裕・増田 徹
---------------	----------------	-------------------------------------

※1部昇格〔下記：付則③－(ウ)による〕

1WT (1部女子)	市田組 (B)	松本 香織・川村 彩花・平井 蘭 平子 穂乃果・武田 沙貴・千葉 雪乃
---------------	------------	--

## 2 今年度の各大会の優勝者 (含む、昇格について) (春季一般大会・道南大会のみ掲載)

## ① [2019年度：第44回 函館地区春季一般バドミントン大会] (2019. 5. 19)

※ 空欄は、該当者なし

	1MD	福士 和真 村上 晃也	(市田組) (市田組)	1WD	廣岡 優 佐藤 美幸	(B.L.C. 06) (N. B. T)
	1MS			1WS		
1部 昇格 対象	2MD			2WD		
	2MS			2WS		
2部 昇格 対象	3MD			3MD		
	3MS			3MS		
	SVMD	亀谷 正勝 杉谷 優貴	(N. B. T) (MCC)	SVWD		
	SVMS			SVWS		
	VMD	水上 京子 石田 ゆかり	(B.L.C. 06) (B.L.C. 06)			
	VMS			VWS		

## ② [2019年度：第46回 道南バドミントン大会] (2019. 9. 23)

※ 空欄は、該当者なし

	1MD	福士 和真 村上 晃也	(市田組) (市田組)	1WD	成田 倫奈 松本 香織	(市田組) (市田組)
1部 昇格	2MD			2WD		
2部 昇格	3MD			3WD		
	SVMD			SVWD		
	V-MD	水上 京子 石田 ゆかり	(B.L.C. 06) (B.L.C. 06)	VWD		

(付則)

1 チーム編成について

①	団体登録とし、1チームの構成人数は6名以上8名以内とする。
②	<b>【平成13年度：函館地区一般クラブ対抗大会：代表者会議での申し合わせ事項（確認）】</b> (ア) 他チーム(クラブ)との重複登録及び年度途中での登録変更は認めない。 (イ) 地区協会主催による年間の大会スケジュールを考慮し、年間を通じた大会出場を見越して協会登録を行うこと。 (ウ) その他、協会の判断による。
③	<b>【参加申し込みの際には次の条項を遵守して申し込むこと】</b> (ア) 1部登録選手の2部チームへの参加は1名までとする。 (イ) 1部から2部への年齢による移行は <b>35歳</b> からとする。 〔移行の希望する場合は、申し込み用紙の備考欄にその旨を記入すること〕 (ウ) 前年度、2部での優勝チームは年齢制限にかかわらず1部に昇格する。 〔チーム編成において前年度のメンバーが2名以上いる場合は優勝チームとみなす〕 (エ) 年齢が <b>30歳未満の者</b> で、高校・高専大会への出場経験者で、個人戦の種目で地区ベスト8となった者は、1部で出場すること。 (オ) 個人登録者が団体チームに加入する場合は、1チーム：1名のみとする。 (カ) 個人登録者同士で団体チームを編成することも可とする。 〔個人登録者同士のチームの場合は、申し込み用紙の備考欄にその旨を記入すること〕 (キ) 同年度の「春季一般大会」及び「道南バドミントン大会」において、2部の種目(D及びS)で優勝し昇格となった選手は1部とみなす。 (ク) 同年度の「春季一般大会」及び「道南バドミントン大会」において、3部の種目(D及びS)で優勝し昇格となった選手は2部とみなす。 (ケ) やむを得ない事情により欠員を生じ、チーム編成が規定する人数に達しない場合には、別紙「チーム編成について(留意)」の条項に準じてチーム編成を行うこと。 〔出場を認められたチームとする〕

2 大会当日の代表者会議の協議事項及びその他について

①	大会当日において、やむを得ない事情により欠員が生じ、必要最低人数(6名)が揃わず人数不足となった出場希望のチームの取り扱いについて。
②	大会当日において、やむを得ぬ事情によりエントリー選手の変更を希望する場合の可否について。(但し、変更する場合は同一クラブに登録済みの選手とする)
③	プログラムの訂正について
④	<b>【その他】</b> (ア) 予選及び決勝・その他の順位決定戦において「やむを得ぬ」事情により、競技途中から欠員が生じ、必要最低人数(6名)を欠いて「5名編成チーム」及び「4名編成チーム」となる場合には「 <u>オーダー用紙の提出前</u> 」に速やかに競技委員会に申し出ること。 (イ) この場合、取り扱いについては競技委員会で検討する。 (ウ) 欠員のまま、「5名編成チーム」・「4編成チーム」での競技継続が認められた場合は、別紙「チーム編成について」準じる。 (エ) 申し出後の試合については、「欠員の補充」についてはいかなる方法でも認めない。 (オ) 申し出のない場合は、当該チームの「失格」とし、以降の試合を行わない。 又、それ以前の試合結果については抹消する。